

5つのポイント

全天候型子ども遊戯施設の設計ポイント5つを紹介します。

Point.1 みんな同じ遊びができる
 すべての子どもと一緒に同じ遊びの楽しさを味わえる空間にします。

Point.2 五感を刺激する
 五感を刺激することで、子どもの感性を育て、遊びの幅を広げます。

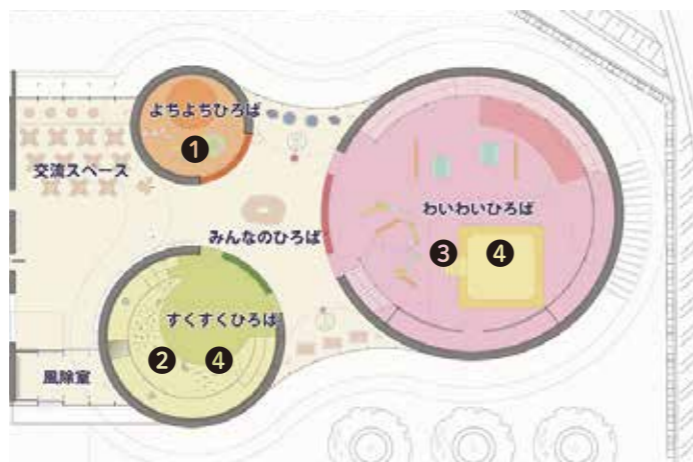
Point.3 自分にあった遊びを選べる
 身体能力とこころの個性に合わせて自ら遊びを選び楽しめるようにします。

Point.4 落ち着ける
 クールダウンスペースを設けて、遊び疲れた後なども落ち着けるようにします。

Point.5 誰かにつながる
 個性が違う子どもたちが一緒に遊び、楽しさを膨らませ、分かち合えるようにします。



◀施設内の紹介動画を市公式 YouTube で公開中

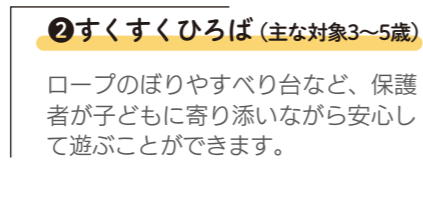


施設内のイメージを紹介



①よちよちひろば (主な対象0~2歳)

クッションブロックなどの柔らかい素材の遊具で、子どもが保護者と一緒に遊べるスペースです。



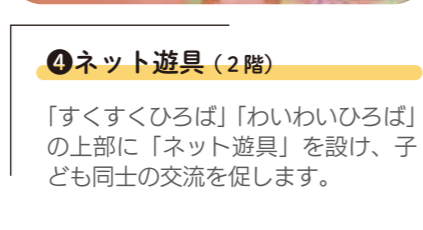
②すくすくひろば (主な対象3~5歳)

ロープのぼりやすべり台など、保護者が子どもに寄り添いながら安心して遊ぶことができます。



③わいわいひろば (主な対象6歳~12歳)

クライミングやエアトランポリンなど、子どもがチャレンジしたくなる遊具で楽しむことができます。



④ネット遊具 (2階)

「すくすくひろば」「わいわいひろば」の上部に「ネット遊具」を設け、子ども同士の交流を促します。

天候に左右されず、思いっきり遊べる。
全天候型子ども遊戯施設
 令和6年度末にオープン予定！

ワケ
02



●問合せ こども未来課 ☎ 0256・77・8225

屋内で思いっきり体を動かして遊べる施設が令和6年度末、交通公園・こどもの森の隣接エリア(大曲)にオープン予定です。

施設の外観は、窓から内部で遊ぶ子どもの姿が見え、施設を訪れる人がワクワクするようなデザインとなっています。

遊戯スペースは、年齢による身体機能の違いや興味のある遊具の違いから、年齢ごとに「よちよちひろば」「すくすくひろば」「わいわいひろば」の3つのエリアに分かれています。子ども一人ひとりの成長、個性に合わせた遊びを楽しむことができます。

また、雨や雪の日でも、駐車場から館内へ移動しやすいよう、駐車場と歩行者用通路には屋根があり、子育て世代の視点を取り入れた設計となっています。



完成イメージ(内観)

子育て世代の視点を取り入れた設計
 子どもも大人もワクワクする遊び場

完成イメージ(外観)

